



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月14日（水）



6年生が家庭科でミシンを使った裁縫の授業に取り組んでいました。早朝からミシンサポートの保護者の方々にお越しいただき、子供たちを支援してくださっています。お忙しい中、本当にありがとうございます。子供たちは、恐々な様子でミシンを扱っていますが、大人がそばにいることで安心して安全に取り組むことができます。ちなみに、子供たちが作っているのはトートバッグです。どんなトートバッグが出来上がるのでしょうか。完成まで、まだまだ道のりは遠そうです。がんばろう。



1年生は、生活科の校外学習で新河岸川寺尾遊水地まで虫取りに行きました。今回は、NPO法人・舟運ふじみんの郷の皆さんにご協力いただき、子供たちの活動をサポートしていただきました。子供たちは広いところでのびのびと活動することができ、みんな大喜びでした。バツだけだけでなく、水生昆虫も観察したり捕まえたりすることができました。また、元福小学校でトイレをお借りしました。今回の校外学習にあたり、多くの皆様にご理解とご協力をいただきました。大変ありがとうございました。



「よい友達って、どんな友達でしょうか。」

今日の3年生の道徳は、こんな投げ掛けから始まりました。子供たちからは、「仲がいい」「やさしい」「遊んでくれる」などの言葉がすぐに出てきます。

本時の教材文「友だちだから」の主人公「ぼく」は、ある日すっかり宿題を忘れてしまいます。なんとか取り繕うために、友達の実くんが宿題の答えを教えてもらおうとします。前日、カーブの投げ方を実くんが教えたので、見返りとして宿題をしてくれるだろうと目論んだのです。しかし、実くんは、ぼくに宿題を教えくれません。実くんは、「友だちだから、なお教えられないよ。」と言います。ぼくは、腹を立ててしまいますが、家に帰ってから、なぜ実くんがあんなことを言ったのか考え込んでしまいます。

この教材を通して、子供たちは「いい友だちとは、どういう友だちなのか」について考えました。「実くんは、未来のことも考えて言ってくれている。」「ときにはきびしいことも伝えるのが、思いやりだ。」など、たくさんの考えが生まれました。自分にとって都合のいいことという友だちだけが、よい友だちではないことに気づいたようです。

